

国土交通省説明資料

令和元年11月6日

首里城の概要

- ・首里城は、全国で17ある国営公園のうちの1つ、国営沖縄記念公園に設置された施設
 - ・沖縄の本土復帰記念事業の一環として、戦災によって失われた貴重な歴史的文化遺産を復元

【国営沖縄記念公園(首里城地区) 概要】

・事業着手 昭和61年度

・面 積 4.7ha(開園面積4.7ha)

・供用開始 平成 4年度(全園開園 平成31年2月)

(うち、有料区域1.4ha ※県による管理区域)

(今回焼失した正殿、北殿、南殿・番所等は当初開園区域)

・全体事業費 260億円



【全景】

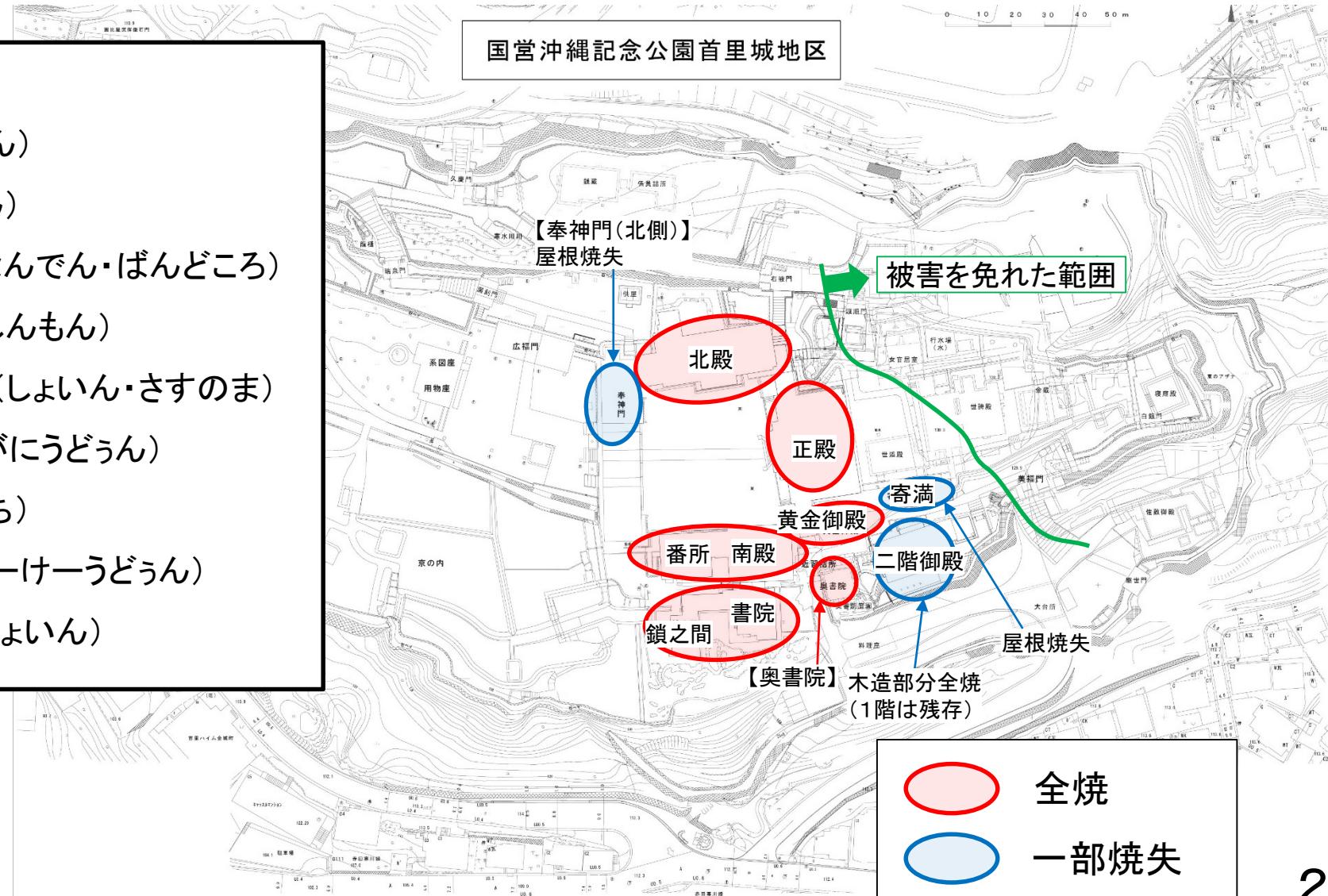


首里城の火災被害について

- 今回の火災により、木造で復元を行った正殿を含む、計9施設が焼失(一部含む)

◆焼失施設

- ・正殿(せいでん)
- ・北殿(ほくでん)
- ・南殿・番所(なんでん・ばんどころ)
- ・奉神門(ほうしんもん)
- ・書院・鎖之間(しょいん・さすのま)
- ・黄金御殿(くがにうどうん)
- ・寄満(ゆいんち)
- ・二階御殿(に一けーうどうん)
- ・奥書院(おくしょいん)



当時の首里城復元事業の経緯



復元後の首里城正殿

【主な経緯】

- | | |
|--------------|---|
| 昭和61年度 | 首里城跡約 4 haの国営公園整備が閣議決定 |
| 昭和61～63年度 | 首里城正殿設計委員会及び専門部会（木造、瓦類、彩色、彫刻）の開催 |
| 平成元年度
4年度 | 首里城正殿等の建築工事起工
首里城正殿等が一部開園
(1.7ha) |
| 12年度 | 九州・沖縄サミットの社交夕食会が開催 |
| 30年度 | 首里城跡が世界遺産登録
首里城地区全園開園(4.7ha) |



首里城正殿設計委員会の開催



木工事の状況

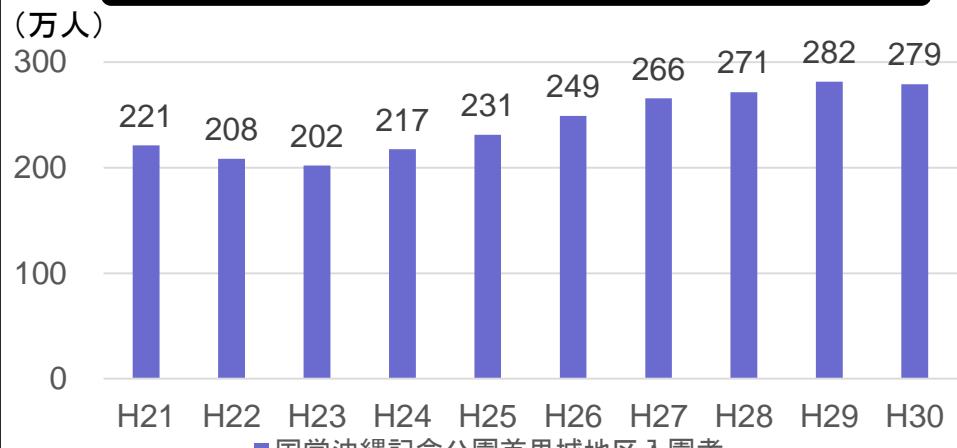


彩色工事の状況

首里城の観光の状況

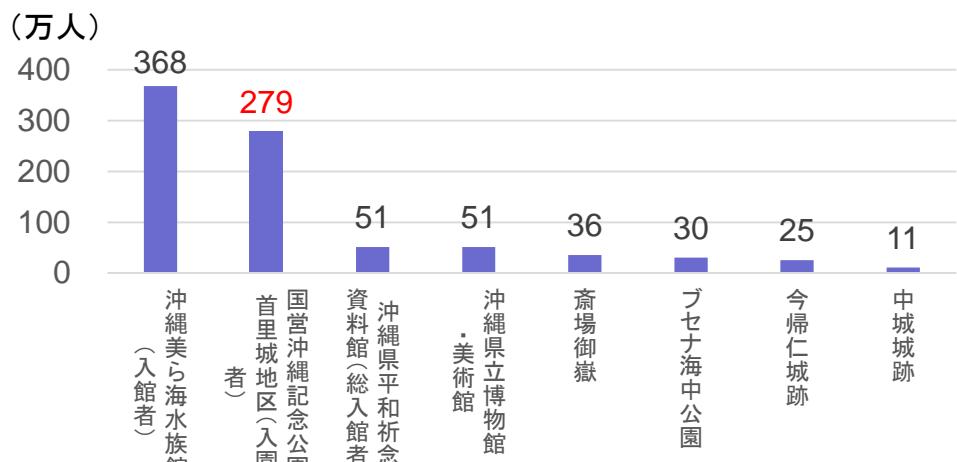
- 首里城は、年間約280万の方が訪れる沖縄を代表する観光地

首里城の入園者数



【出典】平成30年版沖縄県観光要覧

沖縄県内の主要な観光地の利用者数



【出典】平成30年版沖縄県観光要覧

首里城の立ち入り制限・開園の状況

守礼門(しゅれいもん)



園比屋武御嶽石門(そのひやん うたき いしもん)
【世界遺産登録文化財】



歓会門(かんかいもん)

園比屋武御嶽石門

守礼門

